

第167号 令和5年11月15日 発行

- 医療安全の各部署の取り組み
- リハビリテーション合同研究大会発表報告
- 岩国地区消防組合感謝状贈呈
- 互助会慰労会
- 売店案内
- 健康いきいき教室開催予定
- 我が家のペット自慢
- ぶちはびだより

IWAKUNI
MEDICAL
CENTER

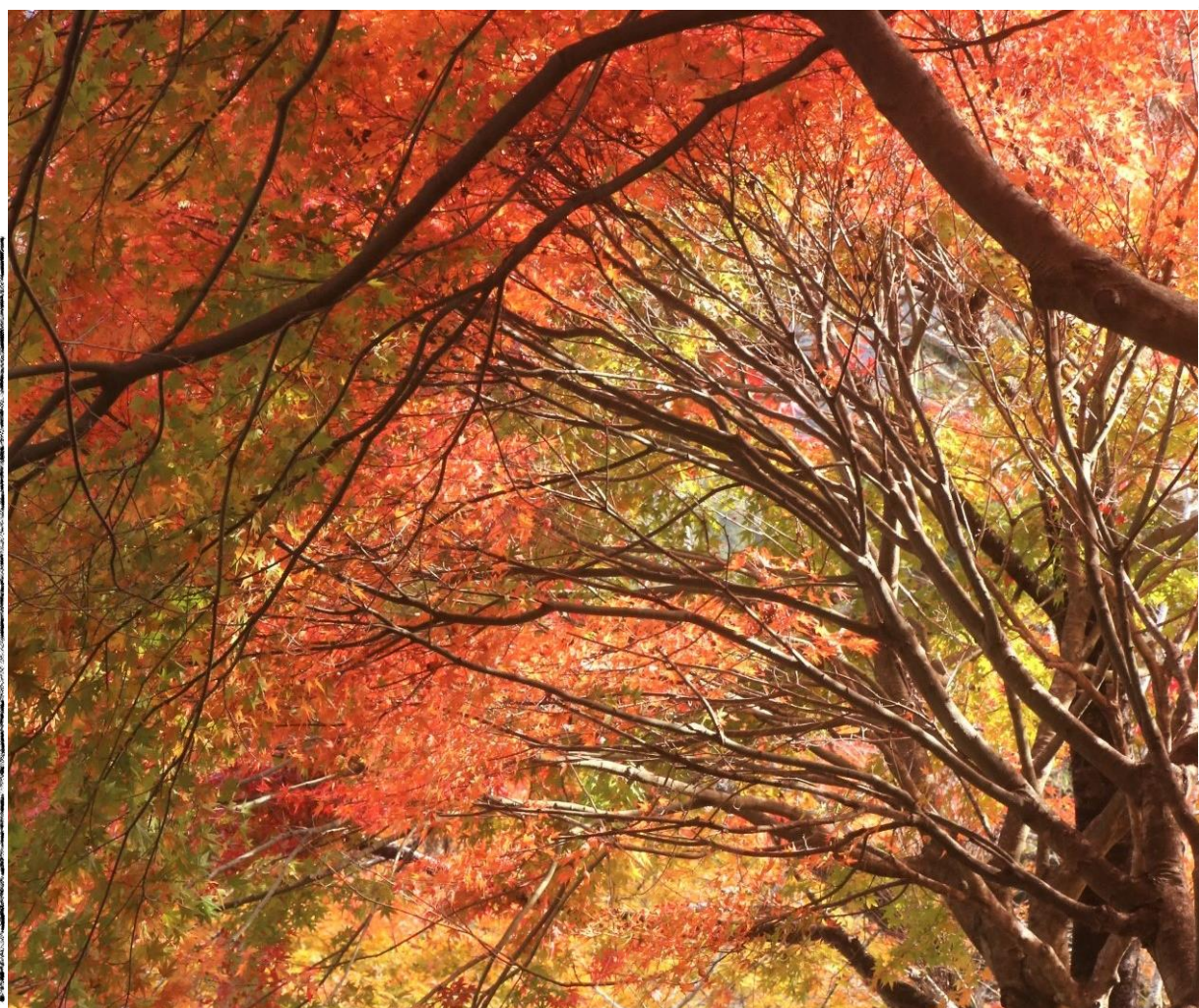


地域医療支援病院

岩国市医療センター
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>

心ひとつに地域貢献
～安心・安全な医療をめざして～



撮影：写真部 写楽 川口 憲二

岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-12

☎ (0827) 21-3211 (代表)

E-mail : info@iwakuni-med.jp

11月19日～11月25日は医療安全推進週間です ㊦

各部署

特集！！ 医療安全 の取り組み



2階病棟 ● 藤井 節代

私たちは、患者の食事介助や見守りをする場面を大事にして、誤嚥や窒息を予防したいと取り組んでいる。食事は患者にとって楽しみでもあり、治療の一環でもある。と同時に疾患の進行や廃用による嚥下機能の低下、また手術後の全身状態の変化などで、入院前の時のように食事を摂取できないことも多い。そのため、患者の個性に応じた食事介助や見守りを行うことで安全に摂取してもらえるのではないかと考えた。カンファレンスで患者情報を共有し、アセスメントに基づいた方法で介助や見守りを行なっている。



3階病棟 ● 村橋 久美子

今年度3階病棟では、前年度からの課題を基に【内服薬の確認方法・与薬の手順遵守】という目標を立案しました。患者間違いによる内服薬に関するインシデントが0件を達成目標に、まず看護師全員で内服薬のマニュアルの読み合わせを行いました。以後は活動計画に沿って薬係がマニュアル通り配薬できているかシャドーイングを行い、評価をしています。また、朝礼や病棟会を利用してインシデント事例の共有を行っています。

4階病棟 ● 河本 智子

4階病棟では、今年度の医療安全の取り組みとして、「看護師管理の内服誤認ゼロ」を目標としています。患者さんの名前、薬剤名、日にち、時間、投与方法、投与量、これらの6Rを指差し呼称することを周知徹底しながら誤認ゼロを目指しています。内服管理は看護師の重要な役割です。患者さんが安心して入院生活を送っていただけるように日々の個別スタッフの指導と、毎月、監査および評価を実施しています。





リハビリ病棟 ● 河邊 景子

医療安全にかかわる取り組みとして、リハビリ病棟では今年度行動制限の低減の為、毎日看護補助者を含めた行動制限カンファレンスを実施しています。カンファレンスでは、行動制限の3原則も掲示し、病棟 チーム全体で意見交換をしています。今後の課題としては、セラピストを含めたカンファレンス、家族説明の充実を行う予定です。多職種でカンファレンスすることで、転倒しても重症化しない、在宅を含めた患者のADLにあった個別性のある環境が整備できることを目指しています。

外来 ● 田中 ちずる

外来では、患者が記入する「患者情報チェック表」でアレルギーや休薬が必要な内服などを確認している。今回、患者の負担軽減と情報収集の効率化を図るため「患者情報チェック表」の改善に取り組んでいる。活動中にアレルギーのインシデント報告があり、ルールの周知および遵守の重要性を再認識した。このようにインシデント発生時は速やかに部署内での振り返り(医療安全カンファレンスやインシデントKYT)を行い、PDCAを回すことで部署の安全文化の醸成に努めていきたい。



手術室 ● 伊茂治 吉孝

手術室では、目標を2つ挙げて活動しています。①「ノンテクニカルスキルでアクシデントを防ぐ」とし、指さし呼称・CUS(心配や不安な安全問題の相互支援)・チェックバック(復唱)を活用しアクシデントの未然防止に取り組んでいます。②「体内遺残を起こさない」では、複数のタイミングで確認するルールの順守と定着化により体内に手術器械・針・ガーゼの体内遺残を防ぐ活動をしています。今後も手術を受けられる患者さんに、安全な手術環境を提供できるよう活動をしていきます。

透析室 ● 宮本 みどり

血液透析は体外循環を行うため、常に事故発生の危険を伴う治療です。私たちは、感染対策、機器管理、患者安全のための安全対策すべての面に配慮して透析業務を行っています。本年度は「患者さんの状態把握と体調管理を充実して、速やかな対応をする」としてシャントトラブル回避のための介入と、検査データの評価を充実して、フィードバックを行うことを目標に取り組んでいます。長期に渡り透析治療を行いながら生活を送る患者さんと、信頼関係を築いて寄り添い、療養生活を支援していきます。



ME機器管理室 ● 向根 武之

ME管理室はME機器の保守、点検、管理と透析室での業務を行っています。臨床工学技士間での情報の共有と、何でも聞ける体制を大切にしており、平日に病棟内を回る訪室業務では、使用中の医療機器が正常に動作しているか、正しく使用されているかを確認しています。不具合などがあった場合、他の技士に報告や相談をして情報を共有することで、安全に医療機器の管理ができると考えます。これからもチームで医療機器の安全管理に努めていこうと思います。



リハビリ部 ● 岡本 修一

今年度の医療安全に対する取り組みとして、以前からの課題であった「輸血実施時のリハビリ介入の取り決めについて」を行っています。これまでは医師の指示があった場合にのみ介入するということにしていたのですが、医師の指示を確認できないことも多く、患者さんの不利益につながることもあったと感じていました。

取り決め・実施の際には御協力を頂くことがあるかと思いますがよろしくお願い致します。



地域医療連携センターかけ橋 ● 室谷 宣志

地域医療連携センターかけ橋は、患者さんの医療情報を院外の施設へ情報提供する事の多い部署です。患者さんの医療情報は極めて安全に取り扱う必要があり、FAXで情報提供をする場合、機器の宛先登録を利用します。登録の無い場合には、2名のスタッフで番号を確認し、ダブルチェックをして誤送信しないよう気を付けています。また、電話で情報交換をする場合は、情報交換を行っても大丈夫な場所でするようにしています。



薬剤部 ● 中川 哲志

薬剤部では「プレインシデント件数の減少」を今年度の目標とし医療安全に取り組んでいます。プレインシデントとは、注射や内服の調剤監査時に発見できた調剤エラーのことを指す言葉で、つまり、この取り組みは、出来る限り調剤エラーは薬剤部内でとどめよう！という事になります。ヒューマンエラーを0にすることは難しいところですが、インシデントKYTも活用しながら調剤時の手順や取り決めを改善し、患者への安全・安心な薬物療法の提供につながればと思っています。



栄養部 ● 松本 絵里子

栄養部は「退院後も患者が継続できる栄養管理を目指す」を部署目標としています。業務改善目標は2つです。一つ目は入院患者、外来患者の栄養指導を年間900件と目標としています。昨年度は713件、一昨年は699件介入し、8割達成しています。2つ目は低栄養改善です。低栄養患者(アルブミン3.0g/dl以下又は医師が必要と認めた患者)に介入して退院時のアルブミンを調べました。一昨年は平均で6割の改善がありました。栄養部では患者一人ひとりに寄り添った栄養指導を心がけています。これからも、食を通して人と人とのつながりを大切にしていきます。



訪問リハビリ ● 森尾 卓哉

私たち訪問リハビリ部門は、心理的安全な職場にするため【一人で悩みを抱え込まないチーム作り】を目標としています。訪問業務のため、スタッフ全員が一同に揃うことも少なく、「声をかけあう」ことを意識して取り組んでいます。一人ひとりが本音を言える場、話し合える場、助け合える場、そんな安心・安全な場にする事で自身のもてる能力を十分に発揮し、よりよいサービス提供へと繋げていきます。

放射線部 ● 白濱 亜紀子

放射線部では医療安全の意識を高め事故を起こさない体制を確立するため、「ルール順守の徹底」という目標で活動に取り組んでいます。ルールを確認するため、全員でマニュアルの確認と見直しを継続して行っています。インシデントやアクシデントが起こった際には数日中にカンファレンスを行い、改善策を検討し必要であればマニュアルの改正を行っています。カンファレンスの振り返りも定期的に行い、ルール定着を図っています。今後とも安全に検査を行う事が出来るよう努力したいと思います。



検査健診部 ● 中原 捷

検体検査の未検査・未提出確認作業を昼、終業前に実施しています。検体とは生体内から検査のために体外へ取り出した(採取した)材料を指します。体外へ出ることによって時間と共に変性していくことは避けられません。せっかく採取したにもかかわらず提出が遅れてしまうと再採取が必要となったり、本来と異なった検査データが報告されたりしてしまいます。そういった状況を防ぐ目的があります。



診療支援室 ● 三原 未絵

私達ドクタークラークの業務は、代行入力をはじめ、医療安全に直結する行為が多数あります。その為、院内ルールの遵守に努め、医療安全上の懸念が生じた場合は、積極的に医師や他部署に確認をするようにしています。特に診療陪席の際には、担当看護師との「報・連・相」を密に行い患者さんの安全を守りながら、円滑な診療が行われるように支援をしています。また、文書作成の際には、間違いの防止の為、クラーク同士で必ずダブルチェックをするようにしています。



診療録管理室 ● 木村 典昭

カルテは医療安全においてとても大きな意義を有しています。当部署では、以下のようなカルテの保管・管理業務等を通じて医療安全に取り組んでいます。

- ・カルテの開示等があった場合、迅速に対応できるよう保管方法を工夫しています。
- ・常日頃からカルテの記載内容や書類に不備等が無いかを確認し、場合によっては該当部署へ確認をして頂くよう依頼をしています。
- ・カルテの質の向上を目的として定期的にカルテ監査を行っています。カルテ監査では多職種でカルテ内容の確認を行い、委員会を通じて各部署にフィードバックしています。



医事課 ● 木村 典昭

私たちは患者登録・保険登録誤り0件を目標に取り組んでいます。患者さんを登録する際に、ダブルチェックを実施しています。確認者のサインを残すことにより各自が責任感を持ってチェックするようにしています。保険登録の誤りは保険者より返戻という形で戻ってくるため、病院経営の観点からも重要な為、日々指導、監視を行っています。





受付

総務課 ● 川村 梨栄

総務課では午前中の代表番号にかかってくる電話対応業務を担っています。顔が見えない患者さんやご家族の方への対応は、時に誤解を受けてしまうこともあります。できるだけ相手がわかりやすい言葉で伝え、理解しているかを確認しながら、お話を伺っていますが、時にはこちらの話を全く聞こうとせず、一方的に押し通そうとされる方もいらっしゃるのです。注意が必要です。すべての方に、説明しご納得いただけるよう日々の対応力を磨きながら業務を遂行しています。

訪問看護ステーション むろの樹 ● 伊東 由美

私たちは、利用者が住み慣れた在宅で安心・安全に過ごせるように、利用者・家族に寄り添いながら、担当ケアマネージャーをはじめ他職種と情報共有・連携・協働に努めています。特に、利用者と家族には、自宅で転倒事故が起きないように、玄関、ベッド周りやトイレなどは、安全な環境調整の助言や指導をしています。また、体調が悪くなった時の緊急時の連絡方法を自宅の壁などにわかりやすく表示しています。訪問看護は基本一人で利用者宅に伺いますので、注射や点滴の確認などは「一人ダブルチェック」を実施し、誤薬防止に努めています。そして、看護職員みんなが、統一した看護が提供できるように訪問看護計画書を見直し、ミーティングでの情報共有の時間を大切にしています。



療育センター リハビリ部・事務部 ● 木村 聖美

療育センターでは、今年度の医療安全目標に沿って、①これまでのルールの確認と適宜更新、②定期的にルール遵守できているかの声掛け、③何かあった時に皆が言い出しやすい雰囲気を作り、④タイムマネジメント、⑤助け合いをモットーに、ルール遵守を徹底するよう心がけています。小さなことかとも思っても心配になることがあればリーダーに報告があがり、状況に応じて皆で解決策を練っています。ルールを遵守することで、仕事の効率化が図れ、助け合う心の余裕がでてくるため、利用者さんのことも自分のこともチームのことも大切にでき、安全な医療に繋がっていきと考えて行動しております。



保育所 ● 海野 真由美

子供たちは毎日色々な所を触ったり、全身を使って遊ぶ為、体や衣服の汚れることが多くなります。保育所では衛生管理、感染症対策として、玩具・オマル・椅子やテーブルなど使用するたびに除菌消毒し、食事の前や戸外からの入室の際の手洗手指消毒、ペーパータオルを使用し手拭きタオルの共有はしない、衛生的な環境の設定、清潔な保育環境の提供を心がけています。安全に元気に遊ぶよう、誤飲や怪我につながる危険な物や箇所の確認、破損や劣化している物がないか遊具玩具のチェックや安全な環境整備など日々心がけて実施しています。



リハビリテーション・ ケア合同研究大会 広島2023

2023年10月26日(木)～27日(金)
会場：広島国際会議場

演題名：A病棟における多職種でのKTBCを活用した 口から食べるための包括的アプローチの取り組み



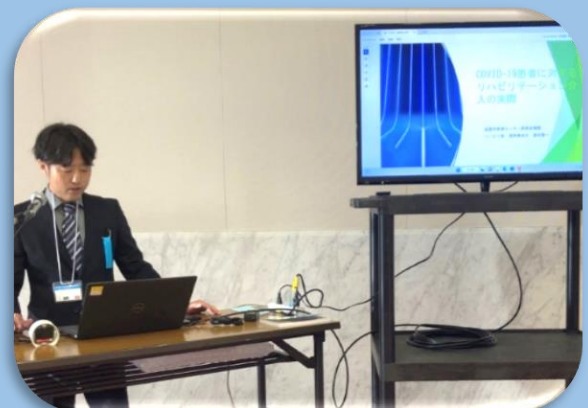
私は、当院回復期リハビリ病棟で2019年5月より導入しているKTBC® (Kutikara-Taberu-Balance-Chart) を活用した口から食べるための多職種での包括的アプローチへの取り組みについて4年間の実績をまとめ報告しました。対象者97名の内、KTBC合計点が増加したのは74.2%という結果でした。今回、当院の取り組みを発表する機会を得て、これからの課題も明確になりました。私は「食べることは生きること、食べることを支えることは生きることを支えること」だと考えています。当院は、これからも口から食べることを支援していきます。

看護師 弥永 由紀

演題名：COVID-19患者に対するリハビリテーション介入の実際

今回、リハビリテーション・ケア合同研究大会へ参加し、当院でのCOVID-19に対してのリハビリ介入について報告、発表をさせていただきました。発表後の質疑応答や、終了後の他院スタッフとの会話・情報交換を通して、関わり当初の不安や困難さを感じていた事など共通することも多くあること、また同分野に限らず他院での取り組みや講演などを聞くことができ貴重な機会となりました。

理学療法士 岡本 修一



岩国地区消防組合より感謝状が贈呈されました



10月7日(土) 岩国地区消防組合発足50周年の記念式典が市民文化会館大ホールにて開催されました。

式典では、岩国地区消防組合関係者や消防団、海上自衛隊岩国基地消防隊、米軍岩国基地消防隊ら数多くの方々が出席される中、消防行政の重要性を深く認識し、救急業務の円滑な遂行に尽くした功績に対し感謝状の贈呈が行われました。



救急医療で連携している医療機関や、医師会に対し贈られたこの感謝状は、消防管理者でもある福田市長より茶川院長へ手渡されました。



互助会 慰労会 in 山賊

秋の山賊慰労会を開催しました。

コロナ禍のため、2020年春より新入職員歓迎会や忘年会などが開催できませんでしたが、5月よりコロナの分類が5類になったこともあり、10月12日より6日間に分けて山賊で慰労会を行い、207人が参加し山賊焼きや山賊むすびなどの名物料理を堪能しました。

コロナ禍でマスク生活が続き、マスクをしていない顔を初めて見る人もたくさんおり、とても新鮮でした。無事に慰労会も終了しました。

今回の慰労会開催に協力していただいた方々、ありがとうございました。



やっぱりみんなで食べる
ご飯は美味しいね！





売店『プティマール』



岩国にある人気店のサンドウィッチ・パン・お弁当を多数販売しています ☺

UPRISE

川下にある手づくりサンドウィッチのお店。
食品添加物を使用していないオリジナルの
サンドウィッチを販売しています。

※ 自動販売機での販売になりますが 土・日・月曜日は
入荷がありません。



ぱんのきもちのぴ

岩国市役所近くにあるパン屋。
ほっこり美味しい手作りパンです！！

※ 金曜日は入荷がありません。



リュッケベーカリー

岩国駅前にある大人気のパン屋。
スイーツ系を中心に美味しいパンを販売しています。

※ 金曜日のみ入荷しています。



クックやまなか

昔から岩国で愛されている仕出し料理屋。
バラエティに富んだおかずが魅力的な日替わり弁当が
人気です。



その他カップ麺・お菓子や週刊誌、入院患者さんの必需品や、あったら
便利なものなど多数揃えています！！ぜひお立ち寄りください ☆☺



注目商品 👉 病院内専用シューズ（爽快マジック）
軽い！履きやすい！抗菌防臭！

営業時間：平日9:00～16:00(土日祝は休み)
TEL：0827-24-1294





健康いきいき教室 開催予定表



感染防止対策をおこないながら実施しています。どなたでも無料でご参加いただけます。
参加をご希望の方は、外来までご連絡ください。(TEL:0827-21-3211)

時間：15:00～ 場所：本館1階 食堂

開催日	内 容	担 当
11/16 (木)	糖尿病教室：食事療法	管理栄養士
11/20 (月)	糖尿病教室：治療・合併症・日常生活	看護師
11/24 (金)	フレイル予防教室：栄養・運動	理学療法士
11/27 (月)	糖尿病教室：薬物療法	薬剤師
11/30 (木)	糖尿病教室：食事療法	管理栄養士
12/4 (月)	糖尿病教室：治療・合併症・日常生活	看護師
12/7 (木)	糖尿病教室：食事療法	管理栄養士
12/8 (金)	フレイル予防教室：栄養・運動	理学療法士
12/11 (月)	糖尿病教室：薬物療法	薬剤師
12/18 (月)	糖尿病教室：治療・合併症・日常生活	看護師
12/21 (木)	糖尿病教室：食事療法	管理栄養士
12/22 (金)	フレイル予防教室：栄養・運動	理学療法士
12/25 (月)	糖尿病教室：薬物療法	薬剤師



当院のホームページに、皆さんの健康維持・増進の手助けとなるようにと作成した
「健康づくりパンフレット」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

我が家のペット自慢

🌸 Oさん家 🌸

うちに来て5年です(๑)

白い猫が

アレクサンドライト☆

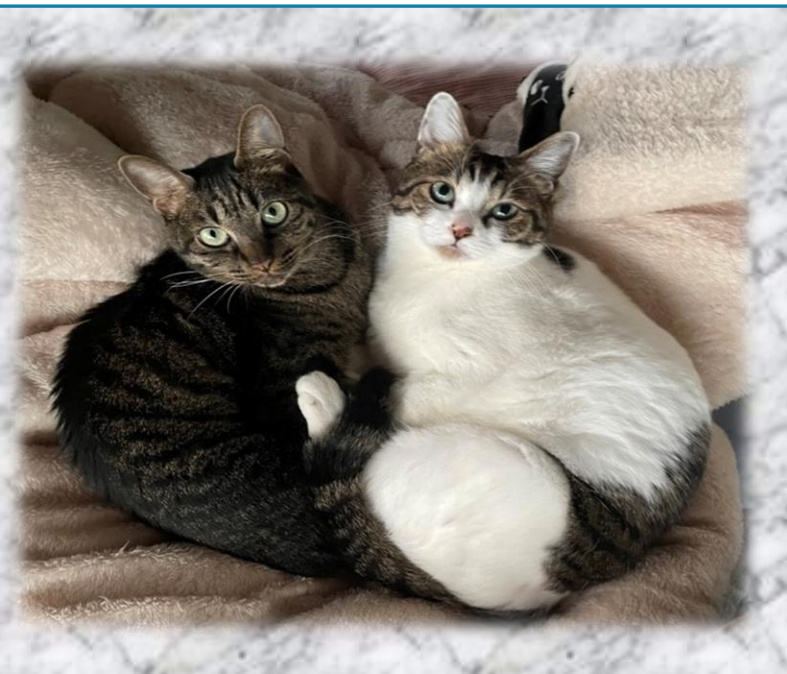
略してアレク君、

黒い猫がゴンザレス☆

略してゴンゴちゃんです。

暴れん坊で、襖や飼い主に

よく攻撃をします(笑)



病児保育所 ぶちはびだより

令和5年



岩国市医療センター医師会病院
病児保育所 ぶちはび
岩国市室の木町3丁目6-12
予約・お問合せ 0827-28-2223
ホームページ iwakuni-med.jp
看護師 吉水

乾燥する冬は、ウイルスが元気になる季節!!
咳やくしゃみによる飛沫感染のものが多いため、
年齢を問わず大流行します。こまめな水分補給や
マスクで、はな・のどを保護して風邪を予防しま
しょう。(。")ノ

10月の利用状況

延べ利用人数 31件
お迎えサービス 2件

病名内訳

感冒、咽頭炎、扁桃腺炎
気管支炎、溶連菌感染症、
インフルエンザAなど

お風呂 ①

方法

● やや熱めのお湯 (42℃
ぐらい) に、ゆっくり
つかり、入浴後は、
しっかり保温。

効果

● からだを温めて、ウイ
ルスと戦う細胞を活性
化する。

歯みがき ②

方法 ● 1日に1回は、10分
ぐらいかけて、歯
と歯の間をていね
いにみがく。

効果 ● 口の中の清潔を保
ち、歯の汚れにつ
く酵素とウイルス
との結びつきを防
ぐ。

換気と加湿 ③

方法 ● 窓や出入り口を開ける。
約5分で完了。

● めれタオルや洗濯物を干
しておく。

効果 ● ウイルスを排出し、湿度
を高めて、ウイルスが嫌
いな環境を作る。

髪を乾かす ④



方法 ● 髪の根元や、
首すじを重点
的に乾かす。

効果 ● 体温が逃げる
のを防いで、
からだ冷えな
ないようにする。

あなたのからだを

かぜから守る 10の方法

ツボ ⑤



方法 ● 上の図に示した
部分を、温めた
タオルやマフ
ラーなどで暖か
くする。

効果 ● からだの冷えを
防ぐ。

呼吸法 ⑥

方法 ● 鼻から吸って、
鼻からはく。

効果 ● 鼻の中を通る間に
冷たい空気が温め
られ、のどに到達
するまでに、ウイ
ルスの多くが取り
除かれる。

睡眠 ⑦

方法 ● 早めに寝る。寒
くなく、汗の出
ない程度に、着
るものを調節す
る。

効果 ● からだの疲れを
とり、免疫力を
高める。

うがい ⑧

方法 ● 水をふくんで、
ブクブク。
● 上を向いて、
ガラガラ。

効果 ● のどについた
ウイルスを洗
い流す。
● のどに適度な
湿り気を与え、
粘膜を守る。

食べ物 ⑨

方法 ● いろいろなものを、バ
ランスよく食べる。

効果 ● ビタミンAは、粘膜を強
化し、ビタミンC、Eは、
免疫力を高める。
● ネギ、ショウガ、ニン
ニクは、からだを温める。

手洗い ⑩

方法 ●せっけんをつけて、
指の間や指先まで、
ていねいに。

効果 ● 手についたウイルス
を洗い流して、少な
くする。

岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

令和5年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土	
総合診療科				木村 一紀			*救急と予約診療以外は 午前中 をお願いします
消化器内科 (肝臓)		川口 憲二		川口 憲二			*救急と予約診療以外は 午前中 をお願いします
糖尿病内科 血液内科			佐々木 輝昌				*毎週水曜日(9時~16時半)に診療を行っています *初診の場合は、 午前中 をお願いします *栄養指導は、 予約 が必要です
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通	藤野 修	福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*毎月第2水曜日・第3木曜日(13時~17時)に フットケア外来を行っています (完全予約制)
泌尿器科			浜辺 龍太郎 (山口大学)				*毎週水曜日(13時半~16時半)に診療を行っています
小児科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*紹介状を必ずお持ち下さい
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず 予約 が必要です
パインクリニック内科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前)	(第1・第3) 原田 英宜 (山口大学)	*毎週 火曜日・金曜日のペインクリニック(痛みの外来)は 予約も可能です 急患や火・金曜以外の診療については、医療連携室 または直接 熊野健一へお問い合わせ下さい *第1・3土曜日(9時~12時半)は完全予約制のため 医療連携室へお問い合わせ下さい
脳神経内科			渡邊 友彬 (広島大学)				*毎週水曜日(9時~12時半)に診療を行っています (対象年齢：16歳以上) *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい
一般外科	消化器 末廣 眞一	消化器 末廣 眞一			乳腺・甲状腺 末廣 眞一		* 9時~12時半 に診療を行っています
整形外科	貴船 雅夫	貴船 雅夫 田中 一成	清水 元晴	田中 一成	交替		*救急と予約診療以外は 午前中 をお願いします *金曜日は 清水 元晴(第1・3・5)、田中 一成(第2・4)が 交替で担当します
脳神経外科						(第1) 桂 建輔 (第3) 藤附 駿輔 (山口大学) (第2) 井本 浩哉 (山口大学)	*毎月第1・3土曜日は、 10時~12時半 に診療を行っています *毎月第2土曜日は、 9時半~12時 に診療(機能的脳外科)を 行っています(要予約)
放射線診断科	東 麻由美 (山口大学)	交替	上田 高頭 (山口大学)	交替	成清 紘司 (山口大学)		*完全予約制のため、放射線科受付(21-3224)へ 詳細はお問い合わせ下さい
リハビリ科	繁富 頼雄 柳居 理絵子	松本 彰紘 (広島大学)	柳居 理絵子	森脇 宣允	柳居 理絵子 松本 彰紘 (広島大学)	森脇 宣允 木村 浩彰	*初診の場合は、必ず 予約 が必要です
療育	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹	*完全予約制のため、療育センター (24-0168) へ 詳細はお問い合わせ下さい

★ 救急は、この限りではありません

★ 紹介状は必ずお持ち下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています

* 医療連携室電話番号： ☎ (0827) 21-3225

医療相談室についてご案内

疾病に関する医学的な質問、医療安全、医療費、各種申請書、各種証明書、入院生活、健康診断結果等の健康管理に係る相談、保健福祉サービスに関する相談等について、医療安全管理者・看護師・薬剤師・社会福祉士等の各担当者がご相談に対応します。

本館1階受付にお気軽にご相談ください。

受付時間：9:00 ~ 17:00 (平日)

9:00 ~ 12:00 (土曜日)

救急センター

岩国市医療センター医師会病院 救急センターは、下記の時間に診療を行っています。

休日・夜間のお問い合わせは、救急センターにお願ひします。

平日・土曜日：19:00 ~ 22:00

日曜日・祝日：9:00 ~ 22:00

電話番号：0827-21-1199



携帯電話でアクセス!

左の2次元バーコードを携帯のカメラで読み取り、携帯電話に登録できます。